

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス キッズワンハート知多にしの台教室		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 14日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日		2025年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的に支援を担当するスタッフと保護者様の面談を実施し、保護者様の困り感に寄り添いながら必要に応じて助言や支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な面談を原則6カ月周期で行い、最近のご家庭での過ごし方や本事業所に求める支援、本事業所での過ごし方等を主軸として情報の共有とニーズの確認を行っている。 SNSや連絡帳を用いて、本事業所での最近の過ごし方やご家庭での様子等、支援や生活を行う上で必要な情報を確認・共有している。 ご本人の障害特性やご家族様との相談により、必要に応じて個別の送迎スケジュールを作成している。本事業所に来所されるまでと帰宅されるまでの見通しの持てない予定に対する不安感を軽減できるよう支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な面談に、PTをはじめとした専門的な知識を有するスタッフも参加し、本事業所での様子についてより多角的な視点から情報を共有できるように対応する。 現在でも外出への起案を計画する際にもスケジュールを作成しているが、さらに利用者様一人一人の障害特性に合わせた内容となるように定期的にスケジュール内容の見直し、修正を行う。
2	災害発生時の対応についてBCP計画を策定し、非常時に備えた訓練を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> BCP計画の策定の中で、緊急時に備えた食品を含む備蓄品のリストを作成し、事業所内で場所を決めて保管している。定期的にリストを確認し、不測の事態でも過不足無く対応できるよう準備をしている。 多種多様な不測の事態を想定し、避難訓練を実施している。避難訓練は原則月に1度のペースで開催している。 緊急時にスタッフが迅速に行動する事が出来るようさらなるスキルの向上と定着を目指している。外部機関に協力を要請し、救急救命講習を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練の一環として、市が指定する指定緊急避難場所への避難を検討している。本事業所外への避難から、さらに別の安全な場所への避難について、経験を積んでいただけるよう計画を進めている。 室内の出火や地震により通路が通行不可となる可能性も含めてあらゆる可能性を想定し、室内から室外への避難経路の確認と定着を行っている。 避難が完了した後を想定し、保護者様への引き渡し訓練を計画している。
3	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> 本事業所と最初に契約を交わす際には、各項目について読み上げを行いながら疑問点がある場合にはその都度質問をいただいている。 運営規定の変更についてはまずは文書であらかじめご確認をさせていただく。質問がある場合には送迎時やSNS等を使用してスタッフにお伝えいただき、質問内容について施設長または担当者が確認と返答を行っている。 日頃のご利用の中で生じた疑問について、保護者様ならびに利用者様が質問しやすい環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 頂いた質問を集計し、下記を計画する。 <ol style="list-style-type: none"> ①文章の該当箇所の変更。 ②スタッフによる説明内容について見直し。 ③追記の文書を公表する。 等。必要に応じて施設内で検討をしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域で過ごしている子ども達と関わる機会がない。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の子どものと接する機会の提供が出来ていなかった。 地域の社会資源を確認し、活用が不十分だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 本事業所が所属している市の社会資源を確認する。 児童館や放課後等児童クラブと連絡を取り合い、本事業所の運営方針や活動について広く知っていただく。 希望に応じて本事業所への見学も受け入れ、地域に開かれた風通しの良い施設運営を目指す。
2	保護者様や利用者様のご兄弟を含めて交流できる場所や機会が設けられていない。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様同士の交流の機会を設けていなかった。 ご家族のことも含めて考えた、多角的な支援の観点が不足していた。 	<ul style="list-style-type: none"> 本事業所で行うイベント行事に、ご家族の参加も含めて企画を検討する。 保護者様同士が交流出来る機会として、茶話会や支援の困り感に対する集いが出来る場を設ける。
3	・家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていない。	<ul style="list-style-type: none"> 市より紹介をいただいている研修会などについて、保護者様全体に共有することができていなかった。 保護者様とスタッフが情報の交換・共有を行っているが、ペアレントトレーニングは実施できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> SNS等を用いて、市より紹介をいただいた研修や、保護者様より紹介いただいた研修について情報提供を行う。